職業実践専門課程等の基本情報について

学校名 東京未来大学福祉	促夸审即						20-0005				
東京未来大字福祉 学校	体育専門	平成26年10)月1日	中村	光一	(住所) 東	京都足立区綾瀬2· 3-5629-3780	-30-6			
設置者名		設立認可名	月日	代表	表者名		13-0033	所在地			
学校法人三幸	学園	昭和60年3	月8日	鳥儿	居 敏	(住所) 東	東京都文京区本郷3	E丁目23番16号			
分野		認定課程名		認定学科	名		3-3814-6151 士認定年度	高度専門士認定	年度	職業実践専	厚門課程認定年 /
教育•社会福祉	教育社	会福祉専門課程		保育科		平成28	8(2016)年度	-		令和	1(2019)年度
学科の目的	保育士養病	或校として、保育業!	界で活躍する	る人材を育成す	するために必要	とされる知識	と技術を教授するこ	とを目的とする。			
学科の特徴(主な 教育内容、取得可 能な資格 等)	どもの未来	育理念に基づき、2年 を育む人財に専門 な資格:保育士資格	士を授与する	る。		現場で必要な	な専門知識・技術を修	等得し、皆から信頼、感	謝される態	度・人間性を	身につけ、社会で
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	夢な総授業 単位数	時数又は総	講義	ě	演習	実習	実	験	実技
2	昼間	※単位時間、単位いず かに記入	ħ	単位時間	į	単位時間	単位時間	単位時間	į	単位時間	単位時間
年				62 単位		単位	53 単位	10 単位	0 i	単位	1 単位
生徒総定員	生徒到	€員(A) 留学	生数(生徒実)	員の内数)(B)	留学生割台	合(B/A)	中退率				
216 人	140			0 人	0%		4 %				
	■卒業者 ■就職希	<u>数 (C)</u> 望者数 (D)	:	81 76		}					
	■就職者	数(E)	:	73		人					
	■地元就	職者数(F) (E/D)		47 96		<u>人</u> %					
		に占める地元就職	≸の割合 (F∕	/E)							
	■卒業者	こ占める就職者の害	l合 (E/C)	64	'	%					
	■進学者		-	90		<u>%</u>					
就職等の状況	■モディ			<u> </u>							
	(令和		後者に関する	令和6年5月	1日時点の情報))					
		職先、業界等									
	(令和5年度		周 暗宝児	福祉施設な	ど保育業界及	なびその関連	法人				
	11休月灯、2	卯椎園、認定ことも									
							- tor				
第一字による	■民間の	の権國、認定ことも 評価機関等から第 ・、例えば以下についっ	三者評価:				無				
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下についっ	三者評価:		of ohe by D			価結果を掲載した			
	■民間の ※有の場合	評価機関等から第	三者評価:		受審年月:		評	価結果を掲載した ームページURL			
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から第一、例えば以下について 評価団体:	三者評価 : 任意記載				評				
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下についっ	三者評価 : 任意記載				評				
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第一、例えば以下について 評価団体:	三者評価 : 任意記載				評				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to	三者評価 : 任意記載				評			単位時間	
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数	三者評価: 在意記載 kyo-fukushi	i/course/chi			評			単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企!	三者評価: 任意記載 xyo-fukushi 業等と連携し	i/course/chi	ildcare/ g・実技の授業		評		j		
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企!	三者評価: 在意記載 xyo-fukushi 業等と連携し 業等と連携し 多授業時数	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業	ildcare/ 『・実技の授業 ^に 『・実技の授業	時数	譯水		j	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企!	三者評価: 在意記載 xyo-fukushi 業等と連携し 業等と連携し 多授業時数	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業	ildcare/ 『・実技の授業 ^に 『・実技の授業	時数	譯水		j	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第:、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企!	三者評価: 任意記載 kyo-fukushi 業等と連携し 業等と連携し を授業時数 うち企業	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した	ildcare/ g・実技の授業	時数	譯水]]]	単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企と うち企と	三者評価: 任意記載 xyo-fukushi 業等と連携し 業等と連携し うち企業 うち企業 うち企業	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した	ildcare/ 『・実技の授業 時数 必修の実験・9	時数 実習・実技の 授業時数	譯水			単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等をと連携した記	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企と うち企と	三者評価: 任意記載 xyo-fukushi 業等と連携し 業等と連携し うち企業 うち企業 うち企業	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した	『・実技の授業 『・実技の授業 は時数 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持	時数 実習・実技の 授業時数	譯水			単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等と連携しした況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企と うち企と	三者評価: 任意記載 xyo-fukushi 業等と連携し 業等と連携し うち企業 うち企業 うち企業	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した	『・実技の授業 『・実技の授業 は時数 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持	時数 実習・実技の 授業時数	譯水			単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等をと連携した。 業等をの実施状況	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算:、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企! うち必	三者評価: 任意記載 xyo-fukushi 業等と連携し 業等と連携し うち企業 うち企業 うち企業	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した	『・実技の授業 『・実技の授業 は時数 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持	時数 実習・実技の 授業時数	譯水		j	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携しした況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算: 、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企! うち必 (うちが 数による算定)	三者評価: 任意記載 kyo-fukushi 業等と連携し うち企業 うち企業 うち企業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	『・実技の授業 『・実技の授業 は時数 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持	時数 実習・実技の 授業時数 業時数)	譯水		62	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況へのよいずれんが、	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算: 、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企! うち企! うち必 (うち:	三者評価: 任意記載 kyo-fukushi 業等と連携し うち企業 うち企業 うま企業 ・主業等と連携し を実等と連携し を表する。	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	『・実技の授業 『・実技の授業 『・実技の授業 ・ と必修の実験・3 ・ と必修の演習の持 ・ ンシップの授	時数 実習・実技の 授業時数 業時数)	譯水		62 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況へのよいずれんが、	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算: 、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企! うち必付 (うち: な数による算定) 総単位数 うち企! うち企!	三者評価: 任意記載 kyo-fukushi 業等と連携し うち企業 うち企業 うま企業 ・主業等と連携し を実等と連携し を表する。	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した きしたインター	『・実技の授業 『・実技の授業 『・実技の授業 ・ と必修の実験・3 ・ と必修の演習の持 ・ ンシップの授	時数 実習・実技の 授業時数 業時数)	譯水		62 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況では、	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算: 、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企! うち必付 (うち: な数による算定) 総単位数 うち企! うち企!	正者評価: 任意記載	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した というとしたインター た実験・実習 たった演習の単位	『・実技の授業 『・実技の授業 『・実技の授業 ・ と必修の実験・3 ・ と必修の演習の持 ・ ンシップの授	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数	授業時数		62 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況へのよいずれんが、	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算: 、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企! うち必付 (うち: な数による算定) 総単位数 うち企! うち企!	に 主者評価: 住意記載 kyo-fukushi ま等と連携しし うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業	i/course/chi た実験・実習 た演習の授事 等と連携した に大変をと連携した に大変の になる。	ildcare/ 『・実技の授業 『・実技の授業 ・ と必修の実験・3 ・ と必修の演習の持 ・ ンシップの授 ・ 『・ 実技の単位が 立数	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数	授業時数		62 J 8 J 2 J	単位時間 単単位時間 単単位 世位 単位 生 単位 生 単位 生 単位 生 単位 生 単位 生 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等をと連携状した況 A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算: 、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企! うち必付 (うち: な数による算定) 総単位数 うち企! うち企! うち企! うち企!	に 主者評価: 住意記載 kyo-fukushi ま等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業	i/course/chi た実験・実習 た演習の授事 等と連携した に大変習の単位 た実験・実習の上た た実験・実習の単位 等と連携した た実験・実習の単位 等と連携した	dcare/ 電・実技の授業 性時数 必修の実験・3 必修の演習の持一ンシップの授金 電・実技の単位数 必修の実験・3	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数	授業時数		62 I 8 I 2 I 12 I	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等をと連携状した況 (A、Bいずれ)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算: 、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企! うち必付 (うち: な数による算定) 総単位数 うち企! うち企! うち企! うち企!	に 主者評価: 住意記載 kyo-fukushi ま等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業	i/course/chi た実験・実習 た演習の授事 等と連携した に大変習の単位 た実験・実習の上た た実験・実習の単位 等と連携した た実験・実習の単位 等と連携した	didcare/ 『・実技の授業的数 必修の実験・3 必修の演習の持一ンシップの授品 『・実技の単位が 数 必修の実験・3 必修の実験・3 必修の実験・3	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数	授業時数		62 I 8 I 2 I 12 I	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位 世位 単位 世位 十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等と連携しした況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企! うちか な数による算定) 総単位数 うち企! うちか (うち)	に 主者評価: 住意記載 なyo-fukushi なyo-fukushi に任意記載 なyo-fukushi まな連携しし うち企業 等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業 等と連携しし うち企業 等と連携しし	i/course/chi た実験・実習の授業 等と連携した 等と連携したインター た実験・実習の単位 等と連携したインター	はdcare/ 図・実技の授業に 実時数 必修の実験・3 必修の演習の持一ンシップの授業 のをの実験・3 必修の実験・3 必修の実験・3 必修の実験・3 必必の演習の第一、	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数	授業時数		62 I 8 I 2 I 12 I	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位 世位 単位 世位 十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携機した況へのよいずれんの	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体:	に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に に で に に に に に に に に に に に に に	i/course/chi た実験・実習 た演習の授 等と連携した も、た実験・実習 は等と連携したインター た実験・実習 になった。 な等と連携した ないった。 ないった。 ないった	はdcare/ 『・実技の授業制度 に必修の実験・3 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持一ンシップの授品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 単位数 位数)	授業時数単位数	-A~-YURL	62 J 8 J 2 J 12 J 0 J 0 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携しした況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算: 、例えば以下について 評価団体:	に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に に で に に に に に に に に に に に に に	i/course/chi た実験・実習 た演習の授 等と連携した も、た実験・実習 は等と連携したインター た実験・実習 になった。 な等と連携した ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする	はdcare/ 『・実技の授業制度 に必修の実験・3 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持一ンシップの授品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 単位数 位数)	授業時数	-A~-YURL	62 I 8 I 2 I 12 I	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携しした況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体:	に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に に で に に に に に に に に に に に に に	i/course/chi た実験・実習 た演習の授 等と連携した も、た実験・実習 は等と連携したインター た実験・実習 になった。 な等と連携した ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする	はdcare/ 『・実技の授業制度 に必修の実験・3 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持一ンシップの授品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 単位数 位数)	授業時数単位数	-A~-YURL	62 J 8 J 2 J 12 J 0 J 0 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携しした況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算: 、例えば以下について 評価団体:	三任意 三任意 三任意 三任意 三任意 三任意 三年 三年 三年 三年 三年 三年 三年 三年 三年 三年	i/course/chi た実験・実習 た演習の授 等と連携した も、た実験・実習 は等と連携したインター た実験・実習 になった。 な等と連携した ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする	はdcare/ 『・実技の授業制度 に必修の実験・3 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持一ンシップの授品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 単位数) (専修学校	授業時数単位数	ームページURL 第1号)	62 J 8 J 2 J 12 J 0 J 0 J	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携携した況の に記入)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算 : 例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企企 うち必付 (うち) な数による算定) 総数単位数 がなる質定) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	三者記載 「ETERNATION CONTROL CON	i/course/chi た実験・実習 た演習の授 等と連携した も、た実験・実習 は等と連携したインター た実験・実習 になった。 な等と連携した ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする	はdcare/ 『・実技の授業制度 に必修の実験・3 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持一ンシップの授品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 単位数 (専修学校 (専修学校	授業時数単位数	ームページURL 第1号) 第2号)	62 I 8 B J 2 I 12 I 0 J 0 J	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL を実等等のいた に記入) を関係していて記 な負責について記	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算 : 例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企生 うち必付 (うち1 な数による算定) 総単位数 うち企生 うち必付 (うち1 での担当する限するでは、 での担当となる者 (② 学士の学位を・	E=者記載 「ET を State Time Time Time Time Time Time Time Tim	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した と演習の授業 等と連携した た実験を実践 においる た実験の単位 においる たましたインター たまいる においる にお	はdcare/ 『・実技の授業制度 に必修の実験・3 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持一ンシップの授品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 を 単位数 (専修学校 (専修学校	授業時数 単位数 単位数 設置基準第41条第1項	- AページURL 第1号) 第2号) 第3号)	62 I 8 B 2 I 12 I 0 J 0 J	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携携した況の に記入)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算 : 例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to 立時間による算定) 総授業時数 うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い ではなる算定) 総単位数 うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを必が できずす限る者 できずすなと、 できずすなと、 のも修業となる学校を表とす。 できずない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E=者記載 「ET を State Time Time Time Time Time Time Time Tim	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した と演習の授業 等と連携した た実験を実践 においる た実験の単位 においる たましたインター たまいる においる にお	はdcare/ 『・実技の授業制度 に必修の実験・3 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持一ンシップの授品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 (専修学校 (専修学校 (専修学校	授業時数 単位数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	ディージURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	62 8 9 12 10 10 10 10 10 10 10	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等等のいた に記入) を発習した の属性(では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算 : 例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to 立時間による算定	E=者記載 「ET を State Time Time Time Time Time Time Time Tim	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した と演習の授業 等と連携した た実験を実践 においる た実験の単位 においる たましたインター たまいる においる にお	はdcare/ 『・実技の授業制度 に必修の実験・3 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持一ンシップの授品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 (専修学校 (専修学校 (専修学校	授業時数 単位数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	ディージURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	62 8 9 12 1 1 1 1 1 1 1 1	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL を実等等のいた に記入) を関係していて記 な負責について記	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算 : 例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to 立時間による算定) 総授業時数 うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い ではなる算定) 総単位数 うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを企い うちを必が できずす限る者 できずすなと、 できずすなと、 のも修業となる学校を表とす。 できずない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E=者記載 「ET を State Time Time Time Time Time Time Time Tim	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した と演習の授業 等と連携した た実験を実践 においる た実験の単位 においる たましたインター たまいる においる にお	はdcare/ 『・実技の授業制度 に必修の実験・3 ・必修の実験・3 ・必修の演習の持一ンシップの授品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 (専修学校 (専修学校 (専修学校	授業時数 単位数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	ディージURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	62 8 9 12 10 10 10 10 10 10 10	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL を実等等のいた に記入) を関係していて記 な負責について記	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算 : 例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企宜 うち必付 (うち) が数による算定) 総数 ちな企宜 うち必付 (うち) では数 では数 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	E 書記載 wyo-fukushi しし とと 乗等 をとと 乗等 をとと 連連 ちちちとと 連連 ちちちとと 連連 ちちちとと 連連 数 全 定 準 修し従 等 程 世 作 の まま を とと 世 で いっぱい で まま で は で いっぱい で まま で は で いっぱい いっぱい	i/course/chi た実験・実習 た演習の授業 等と連携した た演習の提携した た次 の授業 をと連携した た次 の関 がある。 たまで の で とき した の で と の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の に の	ar・実技の授業に 要時数 必修の実験・3 必修の実験・3 心必修の演 のがシップの授 が 必修の実験・3 必必修の実験・3 必必修の実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・4 心をのまるである。2 心をのまるである。3 心をのまるである。3 心をのまるである。3 心をのまるである。3 心をのまるである。3 心をのまるである。4 心をのまるであるである。4 心をのまるであるである。4 心をのまるであるであるである。4 心をのまるであるである。4 心をのまるであるであるであるであるであるである。4 心をのまるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるである	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 数 (専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	授業時数 単位数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	62 8 9 12 1 1 1 1 1 1 1 1	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等のいた況へんに記入) に記入)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から算 : 例えば以下について 評価団体: www.sanko.ac.jp/to な時間による算定) 総授業時数 うち企宜 うち必付 (うち) が数による算定) 総数 ちな企宜 うち必付 (うち) では数 では数 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	E 書記載 E 書記載 E 書記載 E 書記載 E 書記載 E 書記載 E 書記載 E 書 表 書 を E 書 とととと E 書 表 書 を E 書 ととと E 書 とと E 書 ととと E 書 と E 書 と	i/course/chi た実験・実習 等と連携した た演習の授業 等と連携した た大演習の を等と連携した た大演習の が、 ない ない ない ない ない ない ない ない ない な	ar・実技の授業に 要時数 必修の実験・3 必修の実験・3 心必修の演 のがシップの授 が 必修の実験・3 必必修の実験・3 必必修の実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・3 心必をの実験・4 心をのまるである。2 心をのまるである。3 心をのまるである。3 心をのまるである。3 心をのまるである。3 心をのまるである。3 心をのまるである。4 心をのまるであるである。4 心をのまるであるである。4 心をのまるであるであるである。4 心をのまるであるである。4 心をのまるであるであるであるであるであるである。4 心をのまるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるである	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 数 (専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	授業時数 単位数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	62 8 9 12 1 1 1 1 1 1 1 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4) その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職 業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、こども分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、こども分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
松崎 真実	こども教育宝仙大学 幼児教育学科 准教授	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	2
長谷川 真紀	北千住もみじの森保育園 園長	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
上野 小夜子	社会福祉法人聖華 町屋保育園 園長	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
千島 淳子	学校法人熊野幼稚園 熊野幼稚園 園長	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
姉崎 隼	ぽけっとランド綾瀬 園長	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	3
所 慎	学校法人三幸学園 保育事業部 統括部門長	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	3
小平 香織	東京未来大学福祉保育専門学校 副校長		_
大和田 美千栄	東京未来大学福祉保育専門学校 教務主任		-

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年6月13日 15:00~17:00

第2回 令和5年11月21日 15:00~17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

保育現場のICT化は進んでいるが、入力する文章は職員が考える必要がある。語彙力や丁寧語・尊敬語の使い分けた上で作文できる文章力、考えた文章をパソコンで打ち込むためのタイピング力を鍛えることで実務にも生かすことができる。 ⇒対応:言語表現、基礎学力演習などの授業で文章力を、情報処理の授業などでタイピング力を強化できるような内容を取り入れていくよう検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、保育業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。保育業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

保育者としての基本的知識及び保育内容全般等の修得を目的に「地域支援実践」、「保育実習 I (保育所)」を委託する。なお、業務内容は、連携先である園・施設等と相談の上決定する。

専門学校にてあらかじめ設定した評価項目を元に、それぞれ連携先である園・施設等にて5段階評価を行うと共に総合評価も5段階評価を行い、成績評価とする。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
保育実習 I (保育所)	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除 く。)	て総合的に理解する。保育所の役割や機	くりはら愛育保育園 クレアナーサリー足立さくら園 けやきのもり森保育園やしお桜園 ここりの森保育園五香 こすもす保育園 等 計 76施設
地域支援実践	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除 く。)	領域に関わるボランティア活動に参加する ことを通して、多様な能力の育成、社会性 の涵養ならびに実践による知識技術の習 得などを目指す。	けやきの森保育園 トレジャーキッズあやせ保育園 南流山聖華保育園 エーワン梅島保育園 武里まんまーる保育園 等 計 46施設

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の保育業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界なら びに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に 係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: 株式宏紅NO1011 代表取締役 花村嘉信様 研修名: 保育業界の今後と、保育士養成校の教職員に求めること

期間: 対象: 保育科教員7名 令和5年8月22日(火)

保育情報メディア「保育士BOOK」を作成し「養成校様と連携し学生さんと保育事業者様のベストマッチング」 というコンセプトを通じて保育の質の向上に貢献している企業様より、リアルな保育現場の声と共に保育士 内容

養成校の教職員が求められていることを学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: -般社団法人 ウェルビーイング心理教育アカデミー 強みの理解と生かし方 研修名:

対象: 保育科教員22名 期間: 令和6年3月1日(金)

強みを活かすことの重要性を理解し、自己成長及び生徒指導にも生かせるようにする 内容

元USJマネージャーから学ぶ仕事術 研修名: 連携企業等: 株式会社SmiLeam 代表取締役 梅原千草 様 ~挑戦と遊び心が仕事に潤いを与える~

期間: 令和6年3月22日(金) 対象: 保育科専任教員6名

元USJマネージャーの経験を基に、挑戦心と遊び心を取り入れた仕事術を学び、チームビルディングやスト 内容 レス管理を通じて仕事に新たな視点と活力をもたらすことで、専門学校教育の指導やクラス運営に活かす

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

ICT活用が前提となる保育業界で保育士に求められる資質 (株)コドモン 研修名:

連携企業等: ^{(物コトモン} 代表取締役 小池義則様 とは?

期間: 令和6年8月23日(金) 対象: 保育科専仟教員5名

保育業界で求められるICTスキルの習得、業務効率化、保育の質向上について実践事例の紹介を通じて、 内容

専門学校教育におけるICT活用のスキルと保育士に求められる資質を学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

絆を強める!積極的建設的反応の仕方を学ぶ 連携企業等: -般社団法人ウェルビーイング心理教育アカデミー 研修名:

期間: 令和6年11月19日(火) 対象: 保育科教員7名

教務の基本である生徒と良好な関係を築くための積極的建設的反応を学び、実践的なコミュニケーションス 内容

キルとチームビルディングを強化する研修。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。

学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)・等修子校に330分子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	(1)教育理念•目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- 委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。
- ①在学中に保育士になることに対するモチベーションが下がってしまう学生がいるということだが、身近にいる現役保育士の話を聞き、保育士として働くモデルケースを知ることでモチベーションの維持に繋がるのではないか。
- ⇒対応:同じ建物内にある保育園との連携を強化し、ボランティアに参加できる頻度をあげられるよう取り組みを行う。
- ②就職後、早期離職をするケースがあるとのことだが、現場で必要な保育技術とともに、社会人として働くにあたって必要なマナーや知識を身に着けてから就職することができれば、職員の一員として早く職場に慣れることができるのではないか。 ⇒対応:実習指導や就職指導の授業の中や普段の学校生活の中でより実践的な指導を行っていく。
- (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
松縄 和彦	社会福祉法人三幸福祉会	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業等委員
大北 有慶	足立区役所 福祉まるごと相談課	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	業界関係者
姉崎 隼	ぽけっとランド綾瀬	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業等委員
平井 宏子	SANKO日本語学校	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	秋月に関し 知見を有す 教者に関し
堤 隆太	飛鳥未来高等学校 足立キャンパス	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	知見を有する。
竹田 美鈴	認定こども園葛飾みどり	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業等委員
佐々木 愛莉	社会福祉法人創誠会 特別養護老人ホームあかり	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	卒業生
櫻田 凱斗	社会福祉法人聖華 町屋保育園	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	卒業生

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-fukushi/

公表時期: 令和6年8月5日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目

- 1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性 化や学校運営の円滑化につなげること。
- 2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあっ た望ましい進路の実現に資すること。
- 3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促 され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげる こと。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2)各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要
(3)教職員	教員数、組織、専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	
\ <u>'//40\ T スビ/44\ についずけば充</u> い	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3<u>)情報提供方法</u>

(ホームペ-広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: 公表時期: https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-fukushi/

令和6年5月20日

授業科目等の概要

	(孝	教育	社会	福祉専門専門	課程 保育科)											
		分類							授	業.	方法	場	所	教	員	
		選択必修	由	授業科目名	授業科目概要	当年次・学	授 業 時 数	単位数	講義		実 習			専任		との
1			0	情報処理	ビジネス文書の作成、集計表を交えたグラフの作成方法など基本的な操作を学び実践的に適用する力を付ける。 新規からデザイン性のある文書を作成できるようにする。 コンピュータの情報倫理、ネットの脅威とセキュリティ教育を理解し、基礎技術を習熟する。	1 通	30	2		0		0		0		
2			0	ペン字	社会におけるペン習字の必要性を知り、社会人として相応しい書写力を身につける。 美しい文字を書くための基本的な知識と技術を身につける。 落ち着いて、丁寧に文字を書く習慣を身につける。	1 通	30	1		0		0			0	
3			0	基礎学力演習	保育士として必要な基本用語や教養を理解する。 社会人としての常識を理解し、身につけることができる。 保育用語と日本語の基本的仕組みを取り入れた適切な文章が書ける。 名作や名言と呼ばれる作品に触れることで、豊かな感受性を身につける。	1 通	30	2		0		0			0	
4	0			未来デザイン プログラム I	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人/職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する。 「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる。	1 通	30	2		0		0		0		
5			0	英語	保育に必要な英語の基礎を身につける。 英語でのコミュニケーションに慣れる。 他言語、異文化、習慣について理解を深める。 保育に関する専門的英単語、会話文を理解 し話せるようになる。 保育に必要な基礎的ヒアリング能力を習得 し、会話の中で聞き取れるようになる。 外国人の子供や保護者に対応するための素 養を身につけ、保育現場で活かせるように なる。	1通	30	2		0		0			0	

				_							 	
6	0		保育原理	保育の意義及び目的について理解する。保育に関する法令に基づく制度について学び、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領に則った保育の基本・目標と方法について理解する。また保育の思想と歴史的変遷を学び、保育の現状と課題について考える。	1	30	2	0		0		
7	0		教育原理	教育の理念、思想、歴史などの検討を通して教育学の基礎的な知識について体系的に学ぶとともに、教育にかかわる今日的な課題についても原理的に考察する。教えることや学ぶことはどのような営みなのか、先人の教育観や子ども観を学び、現代的に考えることができるようにすることを目指す。	1通	30	2	0		0	C	
8		0	社会福祉	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷、社会福祉における子ども家庭福祉の視点を理解する。社会福祉の制度や実施体制を理解するとともに、相談援助について学ぶとともに、利用者の保護に関わる仕組みについて理解を深める。さらに社会福祉の動向と課題を考察する。	1通	30	2	0		0	С	
9	0		保育者論	"保育者とは何か"を命題とし、学生一人一人が目指していくべき保育者像を追及し理解する。 また実際に保育現場で保育者が働いている様子から伺える様々な葛藤、それを通しての成長の過程を知る。	1 通	30	2	0		0	C	
10		0	保育の心理学	保育現場で関わる年齢期に応じた子どもの 心理と身体のあり方、およびその成長・発 達について学んでいく。		30	2	0		0	C	
11		0	子どもの保健	子どもの特徴、発育・発達の様子を知る。 子どもに多い疾患や事故に対する予防法・ 予防策・望ましい安心安全な環境づくりに ついて学ぶ。	1通	30	2	0		0	C	
12		0	子どもの食と 栄養 I	健康な生活を基本として食生活の意義や栄養に関する基本的知識、子どもの発育・発達と食生活の関連、食育の基本と内容、家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題、特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。	1 通	30	1		0	0	C	
13		0	健康	領域「健康」に示されたねらいを達成することを目的に、幼児の基本的な生活習慣や態度を育成するために必要な基礎的な理論、および実践法について学ぶ。さらに、保育の場における「健康」に関する課題、他の領域との関連性についても理解を深める。	1 通	30	1		0	0	C	
14		0	人間関係	幼児期の人間関係の発達に関する学びを基に、領域「人間関係」のねらい及び内容への理解を深める。幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法や保育の展開について、演習を通して身に付ける。	1	30	1		0	0	C	

15			0	環境	領域「環境」における内容を基本として、 子どもが環境とかかわる力を培うことがで きるようなより具体的な指導法とはどう いったものかを考える。指導計画を実際に 作成し、それを実践する中で子どもへの援 助の在り方等を学ぶ。模擬保育を通して実 践的に学ぶ。	1 通	30	1			0		0
16			0	言葉	保育において育みたい幼児の資質・能力について学ぶとともに、領域「言葉」のねらい及び内容についての理解を深める。また、言葉の発達に即して、言葉遊びや児童文化財を適切に活用する技術を体験的に学び、保育を構想する力を身に付ける。	1 通	30	1		0	0		0
17	0			音楽表現I	保育現場で必要な実践的なピアノ演奏の基 礎技術を身に付ける。	1 通	60	2		0	0		0
18	0			保育製作 I	子どもの保育内容を理解し、製作遊びを豊かに展開するために必要な基本知識と技術を習得する。また、身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ経験をする中で、様々な用具、素材や教材に触れ、保育環境の構成や表現活動に関する保育技術を習得する。	1 通	60	2		0	0		0
19			0	身体表現Ⅰ	幼児期に適切な運動プログラムを実践し、 楽しさや難しさを理解する。 子どもに適切な声かけの仕方や、指導の仕 方を安全管理などを理解する。	1 通	30	1		0	0		0
20			0	乳児保育 I	乳児保育の意義、目的、歴史的変遷、役割などを現状と課題を含めて学ぶ。保育所や乳児院等多様な保育の場を知り、3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容を理解し、その運営体制や職員間の連携、家庭、地域との連携等ついて学ぶ。	1	30	2	0		0		0
21			0	障害児保育	障害児等の理解と保育における援助、指導計画及び個別の支援計画の作成、生活や遊びの環境、子ども同士の関係性、職員間の連携・協働について学ぶとともに、家庭・関係機関及び小学校等との連携・協働について理解し、保健・医療・福祉・教育の現状と課題を知る。	1 通	60	2		0	0		0
22			0	保育実習指導 I (保育所)	保育実習の意義や目的を理解し、実習に必要な知識や技術、心構えを身に付ける。	1 後	30	1		0	0	0	
23			0	保育実習指導 I (施設)	保育実習の理解を高め、保育士としての基本的な態度、知識、技術の基礎を形成する とともに、保育実習に向けた課題の明確化 を図る。	2	30	1		0	0	0	
24		0		地域支援実践	地域社会において福祉・教育・保育等の領域に関わるボランティア活動に参加することを通して、多様な能力の育成、社会性の 涵養ならびに実践による知識技術の習得な どを目指す。	1	60	2		0	0		0

25		0	製作表現	子どもたちは製作遊びを通して、頭や体全体を使いながら表現することで人間らしい知識や心を獲得していく。この科目では、子どもたちの清新な発想や創造的な思考を理解するため、先ずは自分の表現に向き合いながら、子どもたちの表現を受け止め理解していく柔軟な感性を学ぶ。	1 通	30	1		0		0		0
26		0	音楽表現Ⅱ	保育者に必要な音楽の知識を身に付け、演奏や子どもへの音楽表現遊びに役立てる。	1通	30	1		0		0		0
27		0	こどものうた I	保育現場で必要な基礎的な歌唱技術、ソル フェージュ力を実践的に学ぶ。	1通	30	1		0		0		0
28		0	ホームルーム I	学校生活を送る上での諸連絡、諸伝達を行い、クラス内での情報の共有を図る。また、生活面における生徒指導など、学校生活に関わる諸注意事項を徹底させることにより集団生活における学校全体のモラルの向上を目指す。	1 通	30	_		0		0	0	
29		0	実習指導	実習の目的を知り、基礎的な知識を身に付ける。 実習に必要な準備をし、実践力を身に付ける。	1	60	2		0		0	0	
30		0	モチベーショ ン・マネジメ ント	職業人生には働く人のモチベーションを左右する様々な出来事があり、高い成果を上げ続ける為には仕事に対するモチベーションを自分でマネジメントする能力が必要とされる。この科目では、市場や組織の環境変化が激しい中で求められる変化適応力の基礎となるモチベーション・マネジメント能力を習得する。	2 前	15	1		0		0		0
31		0	体育(講義)	こどもから大人までの健康や生活習慣について学び、理解する。 健康と運動の関連性について学び、理解する。	2	15	1	0			0		0
32		0	体育(実技)	幼児期に必要な運動遊びは何かを理解する。 保育現場(体育)で使える力を身につける。	2 通	30	1			0	0		0
33		0	表現	保育者として子どもの表現力をどのように育て、援助していけばよいかについて学ぶ。子どもと豊かに関わり、育ちを支えるために必要な保育者自身の感性とそれを支える表現技術の獲得を目指す。さらに、保育の場における「表現」に関する課題、他の領域との関連性についても理解を深める。	2通	30	1		0		0		0
34		0	言語表現	素話や絵本、紙芝居、ペープサート、パネルシアター、言葉遊びなど、子どもの言語発達に関わる児童文化財の特徴や正しい扱い方を学ぶ。また、集団を前にしての実技と相互批評を通して、保育現場で子どもの言語活動を豊かに展開する実践力を身につけるようにする。	2 通	30	1		0		0		0

35		0	子どもの食と	子どもの食と栄養 I を基盤とし、子どもの発育・発達と食生活の関連、食育の基本と内容、家庭や児童福祉施設における食生活	٦	30	1		0	0	0	
30		0	栄養Ⅱ	内谷、家庭や児童福祉施設における長生店の現状と課題、特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。	通	30	1)	0	U	
36		0	子ども家庭福 祉	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史を知り、現代の制度や実施体系について理解する。子ども家庭福祉の現状について理解を深めながら、子どもの人権擁護についても考察していく。最後に今後の展開について解説し、学生とともに考える。	2 通	30	2	0		0		0
37		0	子ども家庭支 援論	子育て家庭に対する支援の意義と目的、保育の専門性を生かした支援の基本を理解する。子育て家庭に対する支援体制を知る。加えて、支援サービスや地域資源を活用した保育士の活動について学び、子育て家庭のニーズに応じた支援の展開と課題について考察する。	2 通	30	2	0		0		0
38		0	社会的養護 I	社会的養護の意義について、子どもの人権 擁護や保育士等の倫理と責務を踏まえて理 解する。歴史的変遷を辿り、今日の社会的 養護の制度や実施体系、施設養護や家庭養 護の実際を学ぶ。さらに、社会的養護の現 状と課題について、施設運営管理や被措置 児童等虐待防止、地域福祉との関係を踏ま えて考察する。	2 前	30	2	0		0		0
39		0	子ども家庭支 援の心理学	生涯発達と初期経験の重要性について理解 するとともに、家族・家庭の理解や、子育 て家庭に関する現状を理解する。		30	2	0		0		0
40		0	子どもの理解と援助	子どもの各年齢ごとの育ちや抱える課題等 を学び、具体的な援助や態度を知る。	2 通	30	1		0	0		0
41		0	保育の計画と 評価	保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画と評価、保育課程の編成と指導計画の作成、計画・実践・省察・評価・改善の過程について理解する。	2	30	2	0		0		0
42		0	保育内容総論	保育の基本と保育内容、保育内容の歴史的変遷、保育内容と子ども理解とのかかわり、保育の基本を踏まえた保育内容の展開、保育の多様な展開について理解する。	2	30	1		0	0		0
43		0	乳児保育Ⅱ	乳児保育 I で学んだ基本的考え方を軸に、3 歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏ま えた援助や関わり方、配慮の実際を具体的 に学ぶ。養護と教育の一体性を踏まえた3歳 未満児の生活や遊び、保育方法、環境につ いて、計画の作成や演習を通して具体的に 学ぶ。	2	30	1		0	0		0
44		0	子どもの健康 と安全	子どもの身体発育・発達の理解や健康状態の把握、疾病や事故の予防や対応など、保育における保健的対応に必要な基礎的事項を学ぶ。	2	30	1		0	0		0

										1					
45		0	社会的養護Ⅱ	施設養護及び家庭養護の実際について具体的に理解する。社会的養護の必要な子どもの特性や現状を踏まえ、日常生活支援、治療的支援、自立支援の視点で事例から実践的に学ぶ。また、家庭支援、アセスメントの方法や個別の支援計画、記録、自己評価など、ソーシャルワークの専門的技術と知識を学ぶ。	2 後	30	1		0		0			0	
46		0	子育て支援	子育て支援の原則をよく理解し、保育における相談や子育てに関する保護者の悩みへの対応について事例を考察しながら学び、保護者の子育て支援ができる知識と技術を身につける。		30	1		0		0			0	
47	0		保育実習 I (保育所)	乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学ぶために、保育所の生活に参加する。		90	2			0		0	0		0
48		0	保育実習 I (施設)	児童福祉施設や障害者支援施設にて実習を 行い、保育士としての必要な基礎的な子ど もや施設利用者に対する理解を深める。	2 通	90	2			0		0	0		0
49		0	保育実践演習	実際の保育現場における設定保育や園行事の運営を模擬的に体験し、行事の成り立ちを理解し、留意点に気づく。 子どもの育ちと遊びの関連性について理解し、具体的な遊びを立案、実践できる。		60	2		0		0			0	
50		0	教育相談	幼児、児童の抱える様々な問題に対して解決のための支援は、教師の大切な役割の一つである。本講義では教育相談の理論や方法、心得ておくべきカウンセリングの基礎知識とその方法を身につける。	2	30	2	0			0			0	
51		0	教育の方法と 技術	子どもの学びを支える教育方法や教育技術、教育目標や教授方法などについて理解する。また、教師を目指す学生自身のICT活用能力を高め、学校現場におけるツールを効果的に活用した教育計画、実施、教材の開発、授業評価に関わる知識と技術を習得し、実践的な指導力を育成する。	2	30	2		0		0			0	
52		0	音楽表現Ⅲ	音楽表現活動を豊かに展開するために必要な基礎的知識と技術を身に付ける。 子どもの経験と音楽表現とを関連付ける遊びの展開を習得する。	2	60	2		0		0			0	
53		0	音楽表現Ⅳ	子どものうたのレパートリーを広く学習 し、保育現場に相応しい演奏技術を身に付 ける。		60	2		0		0			0	
54		0	保育製作Ⅱ	保育者として必要な製作の表現に係る教材等の活用及び作成法を習得する。また、子どもの経験や様々な表現活動と造形活動とを結びつける遊びの展開や、イメージや感性を養う環境構成及び具体的展開のための保育技術を習得する。		60	2		0		0		0		
55		0	身体表現Ⅱ	指導案の作成手順を身に付ける。 幼児に対する適切な運動指導を習得する。	2 通	30	1		0		0			0	

56	0	保育実習Ⅱ	保育所での保育を実践し、保育士としての必要な資質・能力・技術を習得する。また、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養う。	2 通	90	2		0		0	0		0
57	0	保育実習Ⅲ	児童福祉施設での保育を実践し、保育士としての必要な資質・能力・技術を習得する。また、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解力、判断力を養うとともに、子育て支援・保護者支援するために必要とされる能力を養う。	2 通	90	2		0		0	0		0
58	0	保育実習指導 II	発達年齢に合わせた、より具体的な子ども との関わりを学ぶ。	2 前	30	1	0		0			0	
59	0	保育実習指導 III	各種保育実習に向けて、保育士としての基 本的な態度・知識・技術を習得する。	2 前	30	1	0		0			0	
60	0	インターン シップ	保育現場での職業体験を通して、自己の適性を正しく知り、保育現場における活動の実際を知ることで、適切な職業選択や職場選択ができるようにする。また、社会人として必要なマナーや業務の進め方等を習得する。	2 通	90	2		0		0	0		
61	0	ホームルーム I	学校生活を送る上での諸連絡、諸伝達を行い、クラス内での情報の共有を図る。また、生活面における生徒指導など、学校生活に関わる諸注意事項を徹底させることにより集団生活における学校全体のモラルの向上を目指す。	2 通	30		0		0		0		
62		就職指導	就職にあたって、履歴書の書き方や志望動 機、自己PR文の作成及び面接指導を行う。	通	30	_	0		0		0		
	合	計	[62	科	·目			91	単位	立 (.	単位	時間	1])

	卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件:	本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。 卒業要件単位数は、31単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法:	原則として教育課程に定められている順序で履修する。	1 学期の授業期間	15 週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。